

## 徴兵制度とは

明治6年（1873）明治新政府が誕生した当初は、政権の力量が旧藩政に及ばず新政府は藩兵を制御できず、西南戦争を制圧してから以後、**新政府直属の軍事力保持**のため、徴兵制度が発足した。長州の奇兵隊に習い農民層からも**満20歳以上の男子**を対象に**兵役義務**を課した。これは1945年連合国に降伏するまで存続した。

徴兵検査の結果 **甲種、乙種（第1）は現役兵**として招集され入隊した。  
乙種（第2）以下は **国民兵（第1、第2）**にランクされ後方支援要員となった。

## 国家神道とは

徳川幕府が倒壊して 明治新政府は全国統制のため 天皇制を統治の全面に出して 天皇御親政の名の下に **明治14年**太政官通達により 神道祭神の統一で**天皇中心の紀記神話の神々が 全国的祭神**として強制的に統一されたのである。

**明治19年** 政府の神道事務局が「**神社本局**」に改組してから**国家神道**を（しんとう）と呼び 教派神道を（しんどう）と区別した。

**神社の社格**を制定し **伊勢神宮**を**日本国の本宗**として 伊勢神宮の下にそれぞれ大 中 小 の**官・国幣社**を官社とし宮司を神官（官吏）に任用した。以外の神社を諸社と呼ばれ 府県社、村社、郷社、無格社とした。

特に**靖国神社**は国家神道の中でも**別格の重い扱い**を受け **伊勢神宮**と並ぶ**国家神道の巨大な支柱**に成長し **忠君愛国**と**天皇親政化**として**国粹主義の根源**となった。

爾来80年間に亘る**国家神道体制**が敷かれ **全国民**は必ず何れかの「**神社の氏子**」になるよう強制されたので 殆どの国民は各家に「**神棚**」設置が義務づけられ**伊勢神宮大麻**を飾って拝礼した。

**全国の各学校**には「**奉安殿**」が設置され **神格化された天皇**の**御真影**がを奉納され祝祭日には全校生徒児童は整列して宮城に迎え遙拝した。校長は全員が低頭する前で「**教育勅語**」を厳かに拝読した。

## 戸籍の中に族籍

旧藩政時代には この世に生まれた時から**士農工商**と身分制度があったが 明治新政府が**戸籍制度**を創設してから **族籍**の呼称が新設表示された。

旧藩政時代の支配者は**華族**（公爵、侯爵、伯爵、子爵、男爵）として遇せられ 武士階級は**士族**と表示して、百姓、町人、職人、商人は**平民**になり、 このほか**新平民**と表示させた者がいたと言う。

爵位については発足後に政治軍事経済界の功労者に対して授けられた。